

「ACPT って何？ WCPT のブロックの 1 つじゃないの？」そんな疑問を持って、本号を手にとられた方も多いのではないのでしょうか？私も日本理学療法士協会国際部の一員として活動する以前は、まったくその違いがわかりませんでした。協会本部にも十分な情報がなく、今回総論をおまとめいただいた森永氏には大変ご苦労をいただきました。貴重な資料としておまとめいただき、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、本年 8 月 30 日 31 日に、第 10 回アジア理学療法連盟(ACPT)学会(丸山仁司会長)が千葉の幕張メッセで開催されます。今回の特集はこの ACPT 学会を迎えるにあたって、各国の理学療法事情を多くの理学療法士のみなさんと共有し、相互理解を深めるきっかけにしてもらうことを目的に組まれました。

アジアについて思いを巡らせる時、読者の皆さんは何を思うでしょうか？各国の郷土料理や世界遺産などの観光地、主な輸出品や民俗舞踊など、私たちが描く各国のイメージは多種多様で、一度は訪れてみたいと思う方も多いのではないのでしょうか？一方、理学療法という視点でアジアの国をみたり考えたりすることは、これまででありましたでしょうか？

今回の特集では ACPT 加盟国の大韓民国、台湾、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピンの理学療法事情について紹介していただきました。また、今回はカンボジアとバングラデシュの協会長より日本の理学療法士にメッセージをいただくことができました。特に、台湾の事情については国立台湾大学物理治療學系の Hua-Fang Liao 氏に英語で投稿いただき、現場の生の声を伝えていただきました。その他の国についても、現地での活動経験や就業経験を持つ方々から、各国の理学療法の現状と課題、現在のトピックスなどについてご解説いただきました。日本と同じように高齢化に関する課題を抱えている国や、来るべき国際化社会をにらんで世界標準を意識する国、伝統医療との難しい関係や貧富の差による医療格差が存在する国など、その国によっていろいろな違いを知ることができ、認識を新たにしました。日本は国民総生産世界第 2 位の経済大国であり、理学療法士数も群を抜いて多い国ですが、世界標準の学問体系へのアクセスや先進国とのコミュニケーションについては、英語を共通語とするマレーシアやフィリピンなどの国に比べてはるかに遅れている印象をぬぐえません。国自体の安定性や経済成長などについては圧倒的に日本に有利なものがありますが、自分たちが収集した限られた情報による先入観だけで、各国の理学療法を推測することは厳に慎まなければなりません。今回の特集は読者のみなさんに正しい各国の情報伝達の一助になったことと確信しております。

韓国のように日本に類似した教育制度や医療制度を持つ国では、日本の理学療法士の活動や発展が自国の理学療法にも少なからず影響することから、日本の理学療法士に強い期待を抱いていると聞きます。隣国の友と交流し相互理解を深めるために、第 10 回 ACPT 学会にぜひ皆さんも参加しましょう。

(高橋哲也)

理学療法ジャーナル

(第 42 巻 第 5 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2008 年 5 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当：松田・吉永・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

〔2008 年年きめ予約購読料 20,880 円〕
(全 12 号、配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
奈 良 勲
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里